

スタートアップ企業への成長支援の取組

- コーディネーターによる徹底サポートとデジタルを活用した実証支援を開始 -

2021年7月20日

経済産業省北海道経済産業局

(本発表資料のお問い合わせ先)

経済産業省北海道経済産業局

地域経済部 産業技術革新課 (担当：南、茂木、有田)

電話：011-709-2311(内線2588)

E-mail：hokkaido-gijutsu@meti.go.jp

はじめに

- 北海道は、全国を上回るスピードで人口減少や高齢化が進展し、多くの社会的課題が存在。加えて、ウィズコロナ以降を見据え、デジタル技術等を活用した産業変化が加速しており、**先端テクノロジーを活用した課題解決や、新たなサービスやビジネスモデルを創造する担い手として、スタートアップ企業の活躍が期待**されています。
- 2020年度、北海道経済産業局では、道内におけるスタートアップ企業の成長支援方策について調査を実施。道内では、スタートアップ・エコシステムの形成が進展する一方で、**スタートアップ企業には、資金や人材等、様々な課題があり、成長の妨げになっている**ことが明らかとなりました。
- このため、北海道経済産業局では、引き続き、札幌市など関係機関と連携し、**「コーディネーターによる徹底サポート」、「実証事業への支援」**をはじめ、**スタートアップ企業の成長を支援**して参ります。

1. 道内の主なスタートアップ関連の動向

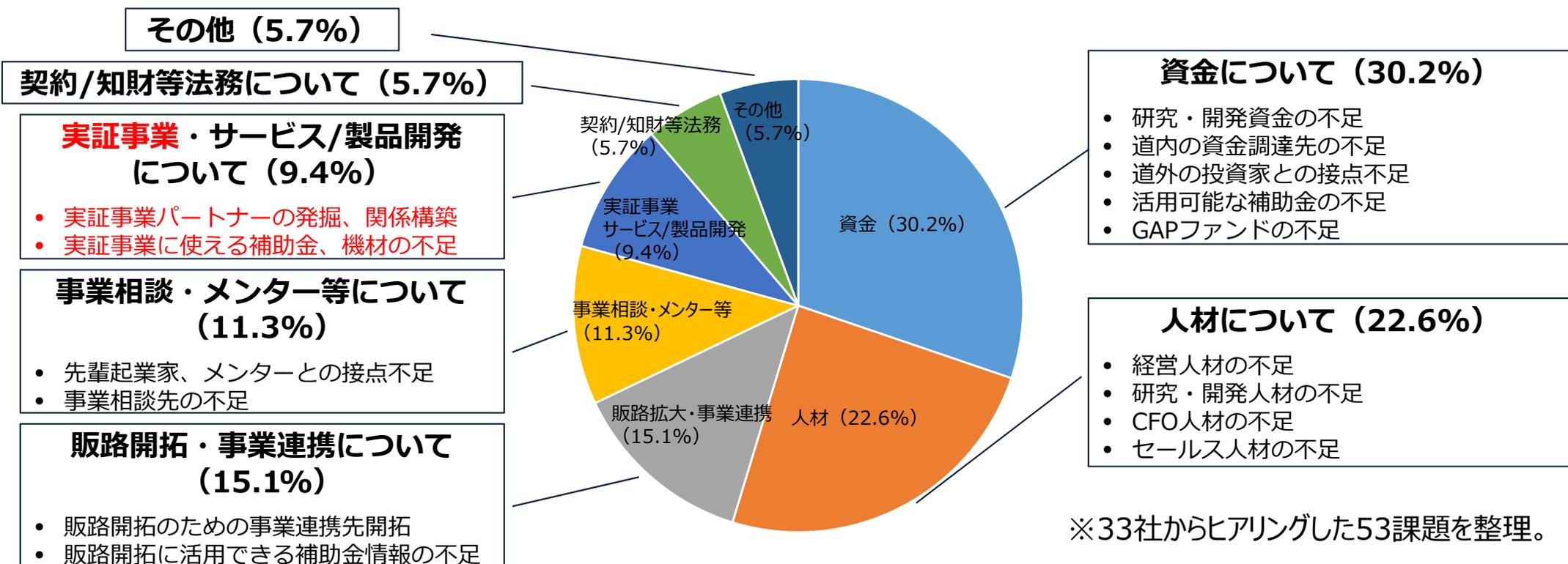
- 道内の大学・民間組織・地方自治体等により設立された「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」※1が、2020年7月に内閣府「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」に選定。同協議会の参画機関を中心に、多様な連携が図られ、エコシステムの形成が進展。 ※1：参考1参照

	主なスタートアップ関連の動向	開始時期等
行政・自治体	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市が「STARTUP CITY SAPPOROプロジェクト」※2を展開 ※2：参考2参照 北海道経済産業局等が、道内の有望なスタートアップを認定・支援する「J-Startup HOKKAIDO」※3を展開※3：参考3参照 	2019.9～ 2020.7～
企業・経済団体等	<ul style="list-style-type: none"> 帯広信用金庫等がアイデアから事業構想までを支援する「とかち・イノベーション・プログラム」を展開 カンファレンス・展示・イベント・交流・実証実験の場となる「NoMaps」が産学官の連携により開催 (株)D2 Garageがアクセラレータープログラム「Open Network Lab HOKKAIDO」を展開 	2015.11～ 2017.10～ 2018.4～
投資家・VC	<ul style="list-style-type: none"> 「Sapporo Founders Fund」がシード/アーリー起業家向けに投資 地域特化型シードベンチャーキャピタル「POLAR SHORTCUT 1号ファンド」が創設 ライフサイエンス分野に特化した官民連携地域ファンド「札幌イノベーションファンド」が創設 	2017.6～ 2021.4～ 2021.7～
大学等	<ul style="list-style-type: none"> 北海道大学・小樽商科大学がアントレプレナーシップ醸成やイノベーション創出を目指す「次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）」を展開 北海道大学等が「SCORE大学推進型（拠点都市環境整備型）」のプログラムにより、大学等発スタートアップ育成支援が開始 	2017.7～ 2021.3～

2. スタートアップ企業の具体的課題と支援ニーズ -ヒアリング調査結果概要-

- スタートアップ企業は急成長により短期間でのエグジット（出口）を目指す、「資金調達」、「人材確保」、「製品等の十分な実証が行えない」等、**様々な課題を有し、リソースの不足が、短期間での成長の妨げとなっている。**
- このことから、スタートアップ企業の成長に必要な支援ニーズを、**①個別課題の解決、②不足するリソースの補完・獲得、③成長をサポートするための環境やネットワークの充実に整理し、「コーディネーターによる個別支援」や、「実証事業への支援」をはじめ、個々のニーズに対応した取組を進めていく。**

【道内スタートアップ企業が抱えている課題の内訳】



※33社からヒアリングした53課題を整理。

3. スタートアップ企業への成長支援の取組 <全体像>

取組 1

課題解決のための個別支援

① コーディネーター・専門家による徹底サポート

② 実証事業への支援

③ SCS^{※1}と連携した相談窓口^{※2}対応

※1：札幌市が推進するスタートアップ支援プロジェクト（STARTUP CITY SAPPORO）
☞参考2参照

※2：SAPPORO Incubation Hub DRIVE（札幌市中央区大通西3-6北海道新聞本社ビル2F）にて対応

取組 2

外部リソースとのマッチング

① 人材マッチング支援

② VC^{※3}・CVC^{※4}とのマッチング支援

③ 大手企業とのオープンイノベーションマッチング

④ ビジネスプランコンテストの開催

※3：ベンチャーキャピタル

※4：コーポレートベンチャーキャピタル（事業会社が投資を行うための組織）

取組 3

ネットワークの形成・拡大

① 支援ネットワークの拡大

② 「J-Startup HOKKAIDO」サポーターズによる支援ネットワークの拡充

③ メディア等を活用した情報発信力の強化

④ 大学発ベンチャーや研究シーズの掘り起こし

取組 1

①コーディネーター・専門家による徹底サポート

- VCや支援機関等の広いネットワークを持ち、スタートアップ支援に精通したコーディネーターを3名配置。
- コーディネーターがスタートアップ企業にアプローチし、課題を特定するとともに、支援施策等を効果的に活用した課題解決のためのコーディネートを実施。
- 必要に応じて、事業戦略、経営、法務、金融、知財等、スタートアップ企業の事業成長に必要な分野に精通した専門家を活用し、個別課題解決のための徹底サポートを実施。

支援対象

- 経産局・事務局（委託先）が、本事業の周知を通じて、支援ニーズの掘り起こしを行う。
 - ・「J-Startup HOKKAIDO」※認定スタートアップ企業（25社選定） ※参考3参照
 - ・道内のスタートアップ企業・起業家 等

支援の流れ

課題の把握・整理

- 個別のヒアリングを通じた状況把握、課題の整理

課題の深掘り

- 支援施策活用の検討や、課題に応じた専門家の選定

課題解決に向けた支援

- マッチング支援、施策活用などにかかるサポート 等

コーディネーター

専門家

※専門家との面談は、1回2時間程度を、合計で2回程度、オンラインにて実施予定。
※頻度、所要時間は個々の企業の実情に応じ対応。

- 高度な課題や専門領域に対応可能な専門家による課題の深掘り

＜専門家による支援例＞
・事業戦略・資本政策構築
・知財、法務面でのサポート
・資金調達にかかる助言 等

コーディネーター



(株)日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング 部門
コンサルタント

井村 圭

研究開発型ベンチャー支援や、オープンイノベーションを活用したスタートアップ支援など、多数の支援経験を持ち、大手事業会社やベンチャー・キャピタルとの広いネットワークを有する。



(株)POLAR
SHORTCUT
代表取締役CEO

大久保 徳彦

これまで在籍していた大手企業やスタートアップ企業で、多くの新商品企画や新規事業推進プロジェクトに従事。2021年4月、北海道エリア特化型シードベンチャーキャピタル「POLARSHORTCUT1号ファンド」を設立。



(株)D2ガレージ
ビジネスデベロップメント
マネージャー

藤間 恭平

アクセラレータープログラム「Open Network Lab HOKKAIDO」の立ち上げに参画し、これまで14社のスタートアップ育成を支援。「STARTUP CITY SAPPORO」事務局や、インキュベーション施設「SAPPORO Incubation Hub DRIVE」の運営に従事。

専門家

弁護士、会計士、弁理士、スタートアップ支援で多数の実績・支援を有する者、ベンチャーキャピタリスト 等

☞ 専門家については、NEDOの事業カタライザー[※]、中小企業基盤整備機構の「FASTAR」専門家[※]等を中心に連携体制を構築しており、個々の課題に応じて適切に選定する。

※参考4参照

- ▶ 北海道経済産業局では、「農業分野での牛の肥育・管理の効率化」、「ドローン活用の促進」、「介護事業所の利用者獲得の効率化」を目指し、DXを進めるスタートアップ企業3社の実証事業を支援（地域新産業創出促進事業費補助金）。
- ▶ 道内スタートアップ企業への支援に取り組む(株)D2Garageが、事業管理機関として、実証企業のビジネスモデルの磨き上げや、ユーザー企業等とのマッチングを支援し、新たなビジネスモデルを構築する。

① ビジネスモデル実証支援

- 市場投入後のミスマッチを避けるため、課題検証時における顧客ヒアリングからサポートを行うなど、ソリューション開発までを伴走型で支援し、市場導入を実現する。
- ユーザー企業等との仲介・マッチングや、資金調達のサポートを通じて、資金計画を伴った着実な事業化に繋げる。

② ビジネスモデル実証予備群の発掘

- (株) D2Garageが、道内各地で開催する「ビジネスモデル相談会」を通じて、スタートアップや起業家等の実証予備群との接点を創出。
- 道内各地の起業家コミュニティや大学等との連携を通じて、地域・社会課題の解決につながるビジネスアイデアの掘り起こしを実施。

③ 成果事例としての発信・普及

- 実証支援により構築した新たなビジネスモデル及び実証支援のノウハウ・知見について、事例ごとにコンテンツとして整理。
- 「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」に参画する自治体や支援機関等を通じた事例共有を行う他、各種WEBサイト、広報媒体により成果を発信。

取組 1 ② 実証事業への支援 - デジタル技術を活用した先進的な実証により社会へ実装 -

◆(株)VETELL (帯広市) 「牛の肥育・管理の効率化」

【課題】牛のえさ摂取量、治療データ等が、健康管理、牧場経営に活用されず、疾病が増加し、牧場収益が低下。

【実証内容】畜産・酪農家と獣医師等が、牛の個体情報をリアルタイムに共有可能な「電子カルテシステム」により、牛の健康データの蓄積、獣医師とのデータ共有による疾病予防や経営向上を実現。



◆(株)Flyers (札幌市) 「ドローン活用の促進」

【課題】ドローンユーザーが急増する一方、飛行適地にかかる土地管理者情報が不足し、飛行申請手続等が煩雑。

【実証内容】「ドローン電子飛行申請プラットフォーム」と土地管理者情報を接続し、データベース化することにより、土地管理者の調査から、書類作成、承認までを一気通貫にし、申請業務の効率化を図る。



◆(株)HELTEQ (札幌市) 「介護事業所と利用者のマッチング」

【課題】介護事業所のサービス提供可否(空き)状況が可視化されておらず、効率的に利用者を獲得できない。

【実証内容】介護事業所と高齢者を抱える介護支援事業者(ケアマネージャー)とのマッチング支援により、効率的な介護サービスの利用と事業者の労働生産性の向上を実現。



① 人材マッチング支援

- スタートアップ企業が必要とする専門人材（事業開発、IT、財務等の職種）と、道内スタートアップ企業とのマッチングを実施。
- 経営力強化や人手不足に対応するため、兼業・副業人材をはじめ多様な人材の確保を支援。

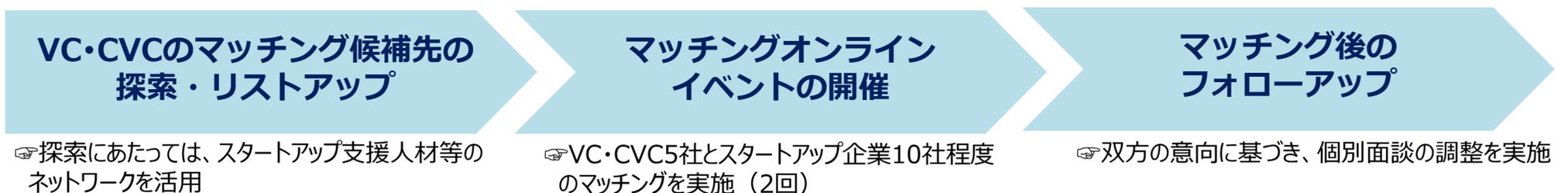
- マッチングの流れ -



② VC・CVCとのマッチング支援

- スタートアップ企業の資金調達を支援するため、道内スタートアップ企業への資金提供に意欲的なVC・CVCを探索し、道外のVCや投資家等との個別マッチングを実施。

- マッチングの流れ -



③ 大手企業とのオープンイノベーションマッチング

- 外部との協業・連携意欲が高い大手企業と、新たな技術やサービス等を持つスタートアップ企業等をマッチング。
- IoTやものづくり、ヘルスケア等の分野に加えて、北海道が強みを有する食分野におけるマッチングと事業化を支援。



- マッチングの流れ -

Webサイト上で
大手企業がニーズ発信

スタートアップ企業等の
エントリー

大手企業による
書面審査

個別面談・
マッチング

☞ 事前に大手企業の技術ニーズ等にかかる調査を実施し、ニーズ発信企業を選定

☞ 大手企業の意向に基づき、オンラインでの個別面談を実施

④ “NoMaps Dream Pitch 2021” ビジネスプランコンテストの開催

- 新技術や斬新なアイデアを基に事業化を目指す起業家・スタートアップ企業がビジネスプランコンテストを発表。
- 道外の投資家等とのマッチングを支援するとともに、全国規模のピッチコンテストへの参加機会を提供。

◆ビジネスプランの募集期間
2021年6月21日～8月25日

◆主なスケジュール

9月3日 一次審査結果通知
9月11日 集合研修
9月13日～ プレゼンテーション指導の開始
10月29日 ピッチコンテスト（オンライン開催）

☞ 13:30～17:30予定／出場定員：最大10チーム程度



① 支援ネットワークの拡大

- スタートアップ企業への支援体制を充実するため、道内外の支援機関、VC、大手企業等の支援ネットワークを拡大する。
- また、専門家やメンター人材等の支援人材ネットワークを新たに構築する。

② J-Startup HOKKAIDOサポーターズによる支援ネットワークの拡充

- J-Startup HOKKAIDO認定スタートアップ企業（25社）への支援を、公的機関と連携して実施することを希望するサポーターズ（企業、団体等31社）をさらに拡充。
- サポーターズとの交流・マッチングを通じて、各社のビジネス展開を支援。

③ メディア等を活用した情報発信力の強化

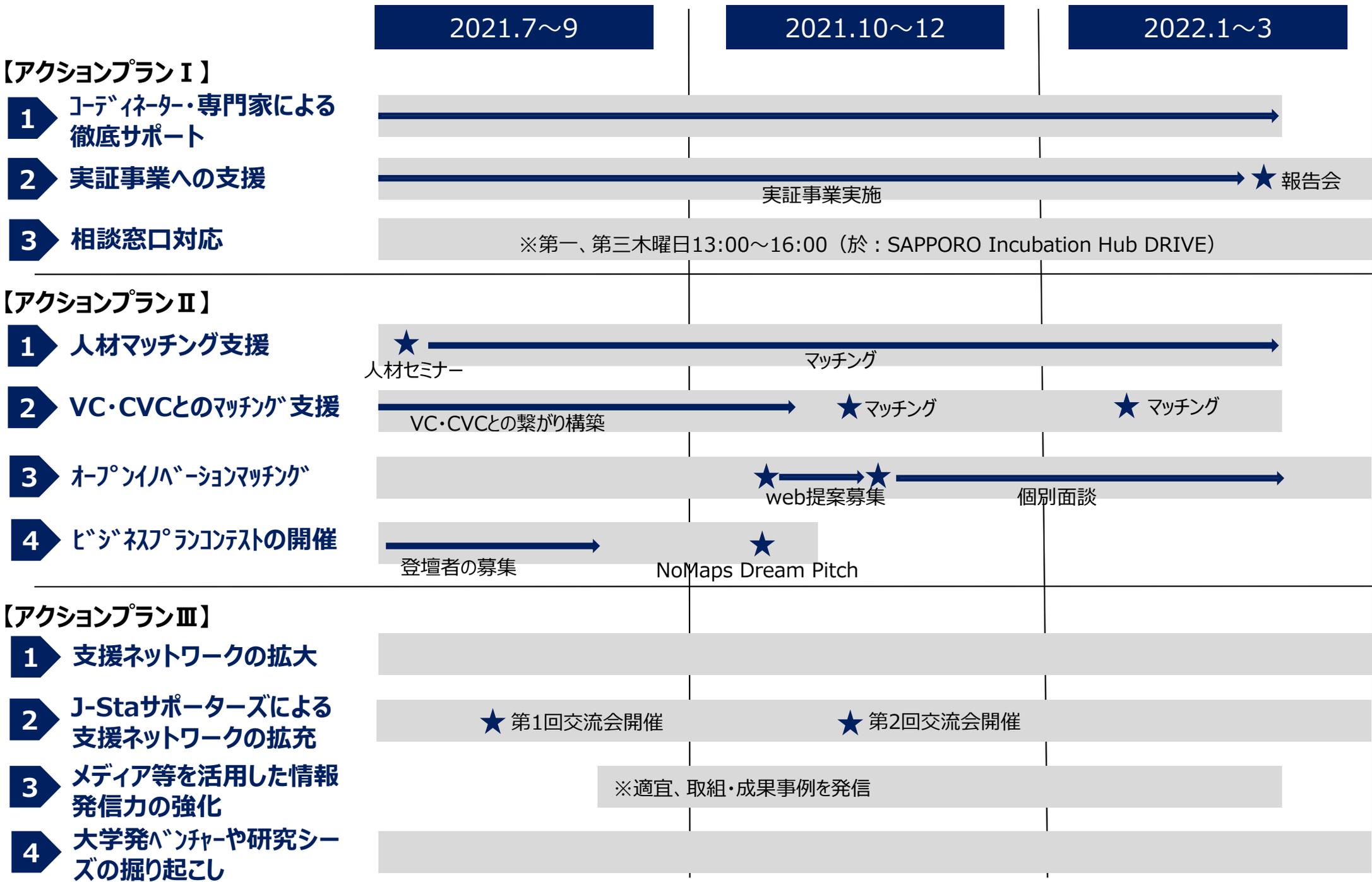
- 外部リソースの獲得には、道外への情報発信力の強化が重要。
- スタートアップ関連情報の発信に強みを持つメディアの協力を得て、道内スタートアップ企業の最新の取組状況や、新規プロジェクト等の情報を積極的に発信する。

④ 大学発ベンチャーや研究シーズの掘り起こし

- 「チャレンジフィールド北海道」（事務局：ノーステック財団）※と連携し、実用化が期待される研究シーズの発掘や、起業可能性のある研究者の調査・発掘を実施し、起業家やスタートアップ企業候補の裾野を広げる。

※経済産業省「産学融合拠点創出事業」をノーステック財団が受託し実施
☞参考5参照

4. 実施スケジュール



【参考1】札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会

- 2020年1月、札幌市が推進役となり、行政・大学・民間組織等の関係機関が一体となって、札幌・北海道において、スタートアップの創出・成長がなされるスタートアップ・エコシステムの拠点を形成し、イノベティブな札幌・北海道を実現することを目的とした「札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会」を設立。同協議会は、2020年7月に、内閣府「スタートアップ・エコシステム推進拠点都市」に選定。

◆札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会名簿

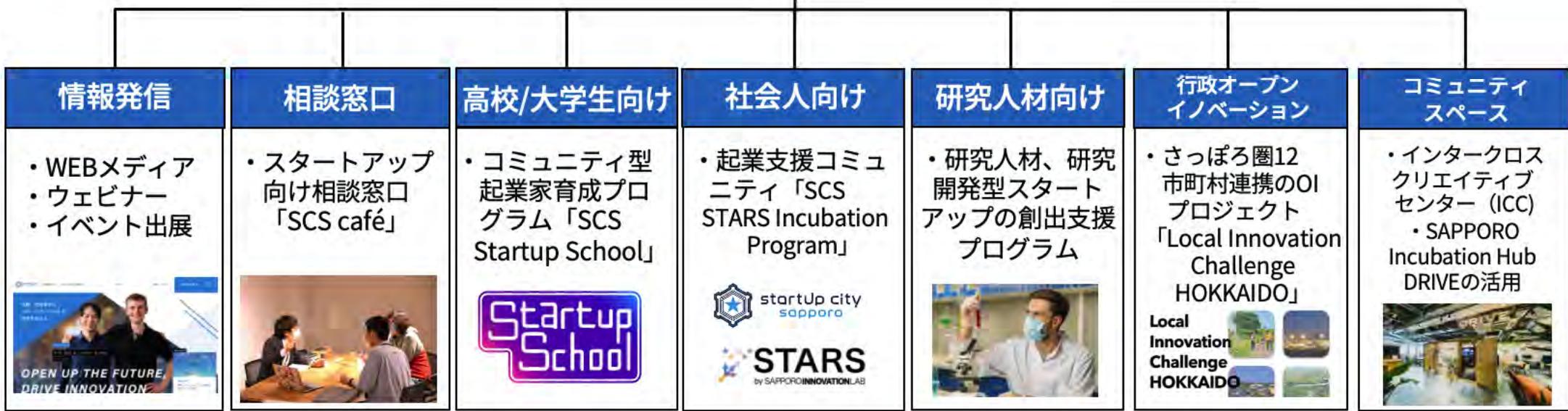
区分等	機関・団体名
自治体	札幌市
	江別市
	帯広市
	函館市
大学	公立大学法人札幌市立大学
	国立大学法人北海道大学
	公立大学法人はこだて未来大学
	学校法人電子開発学園北海道情報大学
経済団体	札幌商工会議所
	北海道経済同友会
	北海道経済連合会
金融機関	証券会員制法人札幌証券取引所
	株式会社日本政策金融公庫
	株式会社日本政策投資銀行
	株式会社北洋銀行
	株式会社北海道銀行

区分等	機関・団体名
支援機関	札幌AIラボ
	一般財団法人さっぽろ産業振興財団
	SAPPORO BI LAB
	Sapporo Founders Fund
	国立研究開発法人 産業技術総合研究所北海道センター
	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) イノベーション推進部
	独立行政法人 中小企業基盤整備機構北海道本部
	株式会社D2Garage
	独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO) 北海道貿易情報センター
	No Maps 実行委員会
	フードバレーとかち推進協議会
	一般社団法人北海道IT推進協会
	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
	北海道ベンチャーキャピタル株式会社
	地方独立行政法人北海道立総合研究機構
	顧問機関
総務省北海道総合通信局	
北海道	

※区分毎に50音順に並べています。

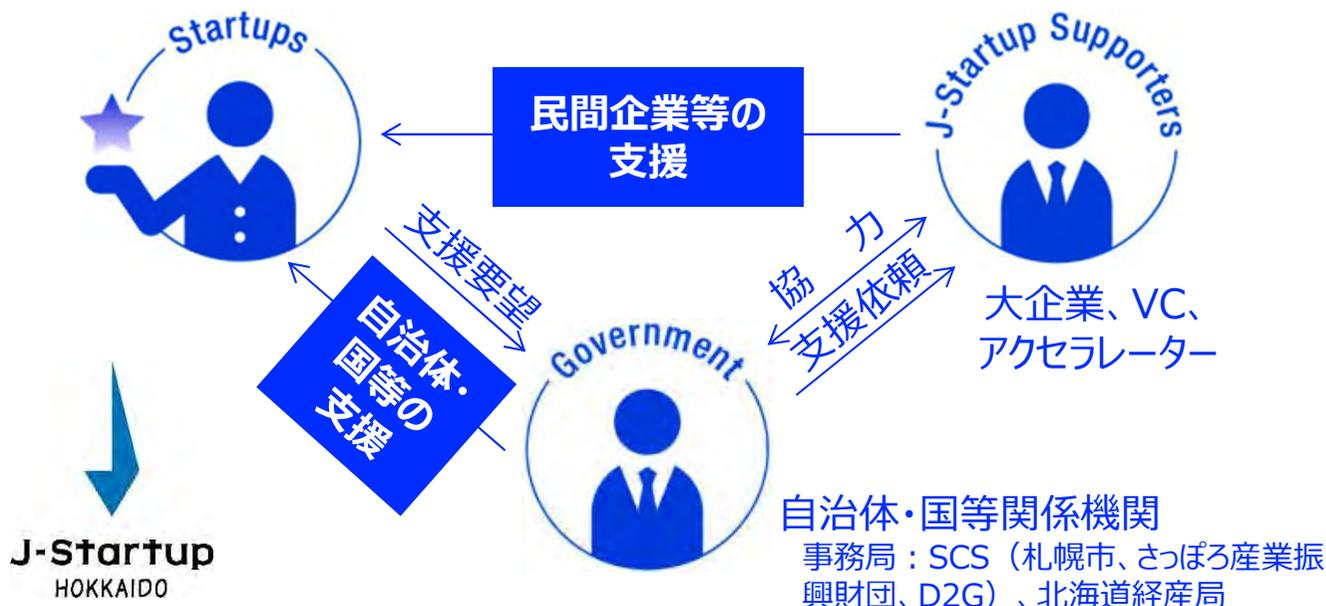
【参考2】 STARTUP CITY SAPPOROプロジェクト

- 2019年9月、札幌市、一般財団法人さっぽろ産業振興財団、株式会社D2Garageで組織するSTARTUP CITY SAPPORO事務局では、札幌ならびに北海道でのスタートアップエコシステムの構築、人材育成を目的とした新たなプロジェクト「STARTUP CITY SAPPORO」を始動。



【参考3-①】「J-Startup HOKKAIDO」について

- ▶ 北海道経済産業局、札幌市、さっぽろ産業振興財団が共同で、地域発でグローバルな活躍を目指すスタートアップ企業を25社選定。公的機関と民間企業が連携して集中支援を行うことで、スタートアップ企業の飛躍的な成長を図る。



【選定基準】

先進性、成長性、イノベーション、経営者の意欲、経営・資金計画

【支援内容】

- ・選定企業専用相談窓口の設置（SCSに設置）
- ・イベント出展支援（SCSとの共同出展等）
- ・ピッチイベントなどへの優先紹介
- ・オフィススペース、コワーキングスペースの利用（札幌産業振興センター内、DRIVE等）
- ・企業とのオープンイノベーション推進に向けた調整
- ・先輩起業家によるメンタリング
- ・アクセラレータプログラムへの優先紹介
- ・NoMapsと連携した事業の実施

サポーターズ参画機関（2021年7月20日現在：31社）

- | | | |
|---------------------|------------------|--------------------|
| ◆(株)アカデミック・ギャングスター | ◆アンビシャス総合法律事務所 | ◆イークラウド(株) |
| ◆EY新日本有限責任監査法人札幌事務所 | ◆(特非)インデペンデンツクラブ | ◆札幌証券取引所 |
| ◆産業技術総合研究所北海道センター | ◆(株)JTB北海道事業部 | ◆(株)シリコンバレーベンチャーズ |
| ◆(株)ショーケース | ◆大日本印刷(株) | ◆(株)タスク |
| ◆(独)中小企業基盤整備機構北海道本部 | ◆(株)D2Garage | ◆(公財)とかち財団 |
| ◆東京海上日動火災保険(株) | ◆東京中小企業投資育成(株) | ◆(株)トラックス |
| ◆(株)日本クラウドキャピタル | ◆日本政策金融公庫 | ◆日本生命保険相互会社 |
| ◆JETRO北海道貿易情報センター | ◆(株)PR TIMES | ◆(株)北洋銀行 |
| ◆(株)北海道銀行 | ◆北海道新聞社 | ◆北海道コカ・コーラボトリング(株) |
| ◆北海道ベンチャーキャピタル(株) | ◆三井住友海上火災保険(株) | ◆三井住友信託銀行(株) |
| ◆有限責任会社トーマツ札幌事務所 | | |

【参考3-②】 「J-Startup HOKKAIDO 認定企業一覧」 (2021年7月20日時点)

IT (AI、IoT、データ等)

(分野別五十音順)

	企業名	所在地	代表	事業概要
1	AIQ(株)	東京都	高松 睦	AIを活用したSNS情報等のプロファイリングによるマーケティングサービスの提供
2	(株)AILL	東京都	豊嶋 千奈	人工知能を活用した異性パートナー紹介事業「Aill(エール)」の展開
3	(株)AIハブサ	函館市	村松 洋明	AIを搭載した画像検査システムや外観検査ロボット等の研究開発、漁獲物データからの魚種判別
4	AWL(株)	東京都	北出 宗治	既設の防犯カメラをAI化し、店舗オペレーションに最適なソリューションを提供
5	(株)INDETAIL	札幌市	坪井 大輔	ブロックチェーン技術の導入コンサルティング、実証実験支援 (EV、地域通貨等)
6	(株)キットアライブ	札幌市	嘉屋 雄大	Salesforce (顧客管理システム) を活用したクラウド・コンサルティングによる業務改革・DXの推進
7	(株)スマートルアー	札幌市	岡村 雄樹	水中環境等を計測可能な世界初のIoTルアーの開発
8	ゼロスベック(株)	札幌市	多田 満朗	IoT技術を活用した、遠隔で灯油の残量を監視し、配送回数&給油量の最適化を提供するサービス
9	(株)調和技研	札幌市	中村 拓哉	難易度の高い個社の課題をAIエンジン (画像系エンジン、言語系エンジン、数値系エンジン) で解決
10	ティ・アイ・エル(株)	東京都・札幌市	藤浪 慧	AIを活用したボイスレコーダーデバイスによるカスタマーハラスメントの防止
11	ネットドア(株)	札幌市	濱田 芳彰	システム開発から運用・管理まで、デジタルサイネージをワンストップで開発・設置
12	(株)バーチャルキャスト	札幌市	松井 健太郎	VR空間のスタジオをリアルタイムでコミュニケーションできるVRライブ・コミュニケーションサービスの提供
13	(株)未来シェア	函館市	松舘 渉	タクシーと路線バスの長所を掛け合わせた、AIによるリアルタイムな便乗配車計算を行うサービス (SAVS)
14	(株)ミルウス	札幌市	南 重信	医療・健康等IoT情報のセキュアな記録・管理及び配付に対応する電子証明書対応SDメモ리카ードの普及
15	Younode(株)	札幌市	新井 史朗	個人データを自分で一括管理し、ID・パスワードをまとめてスマートログインできるアプリの提供
16	(株)ランドスキップ	札幌市	下村 一樹	世界の風景を提供する動画配信サービス「LandSkip」の開発・提供
17	(株)RESA	札幌市	芝 哲也	AIと不動産ビッグデータを活用し、賃貸物件等の家賃設定や入居率を高める「満室ナビ」を提供

ライフサイエンス

	企業名	所在地	代表	事業概要
18	(株)エヌビー健康研究所	札幌市	高山 喜好	Gタンパク質共役受容体 (GPCR) に対する医療用機能性抗体医薬の開発
19	メディカルフォトニクス(株)	札幌市	飯永 一也	食事で摂った脂肪分で生じる血液のニゴリを採血せずに数値化する血液のスマートニゴリチェッカーの販売
20	(株)RAINBOW	札幌市	高橋 悠一	脳梗塞周辺部に自家骨髄幹細胞を直接投与し、脳の損傷を治療する脳梗塞再生医療を提供

航空宇宙

	企業名	所在地	代表	事業概要
21	(株)エアシェア	帯広市	進藤 寛也	小型航空機のオーナーとパイロット、利用客のマッチングによる航空機シェアリングサービス
22	(株)MILE SHARE	札幌市	森田 宣広	ポイント・マイルをシェア可能なマイルプロバイダーとユーザーのマッチングによるシェアリングフライト

農業

	企業名	所在地	代表	事業概要
23	(株)VETELL	帯広市	池田 哲平	農家と獣医師間において牛の管理記録・診療記録を共有する電子カルテシステムの構築・提供
24	(株)農業情報設計社	帯広市	濱田 安之	農業機械の運行支援アプリや自動運転 (自動操舵) 機器等の提供を通じた農作業のクラウド化を支援
25	(株)ファームノート	帯広市	下村 瑛史	クラウド牛群管理システム、センサデバイスによる農業IoTソリューションの提供

NEDO事業カタライザー

- NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の研究開発型スタートアップ支援事業にて、伴走支援人材として委嘱・登録された、事業分野の専門家。
- 主に起業・事業化に向けた活動及びビジネスプラン構築などの各種指導支援を行う。

※参考：NEDO掲載サイト <https://www.nedo.go.jp/content/100927209.pdf>
（上記は、NEP（NEDO Entrepreneurs Program）事業を担当する事業カタライザーの一例。）

中小企業基盤整備機構「FASTAR」専門家

- 独立行政法人中小企業基盤整備機構では、IPOやM&A等を視野に、ユニコーン企業や地域中核企業を目指すベンチャー・中小企業に対し、資金調達や事業提携に向けて、成長の加速化を支援するアクセラレーションプログラム「FASTAR」を実施。
- 本事業において、投資や会計、経営等の知見を有する「FASTAR」専門家が、伴走し事業計画の策定等を支援。現在、9名の「FASTAR」専門家が登録。

※中小基盤整備機構掲載サイト <https://fastar.smrj.go.jp/about/>

【参考5】 産学融合拠点創出事業（チャレンジフィールド北海道）の概要

- 産学融合に先導的に取り組む拠点形成を目指す、経済産業省の新たなプロジェクト「産学融合拠点創出事業」に、北海道の「チャレンジフィールド北海道」が採択。（2020年9月）
- 道内の産学官金25機関によるオール北海道体制で、産学融合による研究開発と事業化創出の取組を加速するとともに、地域・社会課題起点プロジェクトを組成する。

「チャレンジフィールド北海道」の概要

【事業期間】 2020年度～2024年度（5年間）

【参画機関】 25機関

【創出エリア支援機関】 ノーステック財団

【総括エリアコーディネーター】

山田 真治氏（(株)日立製作所）

重要課題	推進計画
農林水産業やものづくり産業の生産性・競争力の向上	産業技術による北海道の農林水産業の効率化推進
	高付加価値鋼材の資源循環型サステナブル未来素材供給基地形成
	道産品のグローバルな競争力向上を目指す域外出荷強化計画
地域社会のスマート化・再生可能エネルギーの活用	パウダーメタラジーとAM技術による新素材創製グローバル拠点構想
	SAVS (Smart Access Vehicle Service) の地域展開とサービス連携
	地域の再生可能・自立型エネルギーシステムの構築
環境との両立による持続的な食料供給	地方都市圏へのMaaSの社会実装
	ビッグファーマーズと共創する植物油由来資源利用活性化
	農・畜・水産融合型資源活用システムの構築
宇宙、農業、デジタルバイオなどの成長産業化・スタートアップの創出	北海道天然資源の利活用による新産業の構築（脳機能の維
	脱炭素を実現するサステナブル醸造研究教育拠点
	産学連携による航空宇宙システムイノベーション
健康で社会参加できる共生のまちづくり	経済界と大学の共同によるGAP資金の提供等
	宇宙ビジネスの成長産業化への取組、産学マッチング
	こころとカラダのライフデザイン

組織種別	参画機関
大学・国研等	北海道大学、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学、室蘭工業大学、公立はこだて未来大学、札幌市立大学、産業技術総合研究所
自治体・支援機関	北海道、札幌市、北海道立総合研究機構ほか
経済団体等	北海道経済連合会、北洋銀行、北海道銀行、北海道ベンチャーキャピタル